

第6回ペイシエント・アクティブ・フォーラム からだところろにやさしいがん医療



日時 2008年6月21日(土) 13時~17時
会場 砂防会館別館シェンバツハ・サポー (東京都千代田区平河町 2-7-5)
定員 600名 (申し込み締め切りは6月18日)
参加費 無料
主催 特定非営利活動法人ジャパン・ウェルネス
後援 厚生労働省、東京都、財団法人日本対がん協会、読売新聞社、朝日新聞社、産経新聞社、毎日新聞社、NHK、日本製薬工業協会、米国研究製薬工業協会、欧州製薬団体連合会
協賛 アストラゼネカ株式会社、株式会社エス・エス・アイ、グラクソ・スミスクライン株式会社、第一三共株式会社、第一三共ヘルスケア株式会社、中外製薬株式会社、万有製薬株式会社、 Bristol-Myers 株式会社 (50音順)

【趣旨】

いま、世界中で多くのがん患者さんご家族が、がん向き合っています。そして、彼らを支えるのが医療関係者の役割とされています。しかし、がん患者さんは長期の療養中に医療だけでは解決されない孤独や不安に襲われます。“がん”に関する情報は氾濫しているものの、個々のがん患者およびがん体験者の渴望の声に耐え得る情報は多くありません。本フォーラムは、がん向き合うすべての人が“希望”をもって、その人らしく生きることができる社会をめざして、がん患者さんご家族に対する教育の一環として、がん予備軍たるすべての市民に対する“がん”に対する意識・知識の向上を図ることを目的としています。

【プログラム】

13:00-13:10 開会あいさつ 竹中文良 (ジャパン・ウェルネス理事長)
13:10-15:20 第一部 講演
「患者と医療の架け橋—からだところろにやさしいがん医療」
竜 崇正氏 (千葉県がんセンター センター長)
「患者と家族の架け橋—がん患者の家族を支える」
大西秀樹氏 (埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍科教授)
15:20-15:50 休憩 (30分)
15:50-16:50 第二部 パネルディスカッション
パネリスト
竜 崇正氏 (千葉県がんセンター センター長)
大西秀樹氏 (埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍科教授)
岸本葉子氏 (エッセイスト)
コーディネーター
内富庸介氏 (国立がんセンター東病院臨床開発センター精神腫瘍学開発部長)
16:50-17:00 閉会あいさつ 中村 正 (ジャパン・ウェルネス事務局長)

【申し込み問い合わせ】

特定非営利活動法人ジャパン・ウェルネス (担当: 大井) 電話 03-5545-1805
お名前 住所を明記の上、下記までお申し込みください。
FAX 03-5545-1806、Eメール: info@japanwellness.jp